

3 重複障がい部運営計画

(1) 運営目標

- めあてを立てて、元気に過ごそう。
- いろいろなことを積極的にやってみよう。
- みんなと楽しく活動しよう。

知的障がいと肢体不自由の障がいを併せ有する児童・生徒が所属しており、自立活動を中心とした教育課程を編成する。教師との関わりや集団での活動を通して個のニーズに応じた自立と活動への参加を図ったり、他者と関わりあう楽しさや様々な活動を体験したりする。また、個別課題に基づいた活動に取り組むことで、生きる力を育てる。

『めあてを立てて、元気に過ごそう』

「朝の運動」「自立活動」「体育」などを中心に教育活動全体を通して、健康の維持・増進と体力や身体機能の向上など、一人一人のめあてを達成するために体ほぐしの運動や動作訓練などの時間を十分に確保したり、身体機能を高める活動をしたりする。また、発作・けいれんなどの障がいをもつ児童・生徒に対して、家庭や関係機関と連携して、健康状態の把握をし、緊急事態にも適切な対応ができるよう職員間で共通理解を図り、支援していく。

『いろいろなことを積極的にやってみよう』

「日常生活の指導」「国語・算数」(小)「国語・数学」(中)「作業学習」「総合的な学習の時間」「図画工作」(小)「美術」(中)「自立活動」などを中心に教育活動全体を通して、言葉、数量、標示、道具などを活用する力や、認知の基礎となる知覚や感覚を育てることで、様々な物事を適切に受け止め、感じ取り、見通しをもって自分でできることを増やしていく。また、支援の仕方を工夫したり継続したりすることで、日常生活の動作が円滑に行えるようにし、できることは進んで取り組む姿勢を身に付けられるようにする。

また「特別活動」では、学級・学年活動、生徒会活動、学校・学部行事において個々に役割を担う中で、自主性を育てる。

『みんなと楽しく過ごそう』

「総合的な学習の時間」「作業学習」(中)「なかよしタイム」(小)「合同音楽」「合同遊び」などを中心に教育活動全体を通して、様々な人と関わる体験を積み重ねる場の設定をしたり、年齢や発達段階に応じた活動集団の規模や構成、支援などを工夫したりすることで、様々な人との関わりを広げるとともに、表現力、コミュニケーションの力、協力したり自分の役割を果たそうとしたりする態度、きまりやマナーを守る態度、余暇を楽しむ姿勢などを育てる。

(2) 学級編制

＜はるかぜ＞					
組	年	男	女	学級計	学年計
1	1		1	3	1年：1
	3	1	1		3年：2
2	4	2	2	5	4年：4
	5	1	0		5年：1
合計		4	4		8

＜こすもす＞					
組	年	男	女	学級計	学年計
1	1	0	0	3	1年：0
	2	0	2		2年：2
	3	0	1		3年：1
合計		0	3		3

(3) 日課表

校時	時間	はるかぜ	こすもす
		8:40~9:00 登 校	
1	9:00	日常生活の指導 (健康観察、朝の会等) (1h) 自立活動、国語・算数 (1h)	9:00 ~9:45 日常生活の指導・自立活動 (着替え、係活動、朝の運動) (0.9h)
2	~10:30		9:45 ~10:00 日常生活の指導(朝の会) (0.3h)
3	(10分)		移動・排せつ・水分補給
4	10:40 ~11:25	音楽、 体育、 図画工作、 国語・算数 (1h)	(10分) 移動・排せつ・水分補給
	11:25 ~11:55	日常生活の指導 (0.6h)	11:20 ~11:55 国語・数学 (0.7h)
	(10分)	移動・排せつ・水分補給	(10分) 移動・排せつ・水分補給
	12:05 ~13:00	日常生活の指導(給食・歯磨き) (はるかぜ1.2h、こすもす1.1h)	
	13:00 ~13:30	自立活動(昼休み) (はるかぜ0h、こすもす0.6h)	
5	13:30 ~14:10	特別活動、自立活動 (0.9h)	特別活動、自立活動、国語・数学 (0.8h)
6	14:10 ~14:30	日常生活の指導(着替え、排せつ、帰りの会) (はるかぜ0.4h こすもす0.4h)	
	14:30 ~14:45	移 動	
	14:45 ~15:00	下 校	

(4) <重複障がい部週時数 > ※道徳は教育活動全体を通して行う。

※1単位時間 はるかぜ45分 こすもす50分

種別	日生	生単	作業	国語	算数 数学	音楽	図工 美術	体育 保体	特活	総合	自立	道徳	合計
はるかぜ	16.5	0	0	1.75	1.75	1.0	1.0	2.0	3.0	0	3.5	※	30.5
こすもす	8.5	0	1.0	2.5	2.5	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0	7.5	※	29